



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.51

令和7年1月31日

文責：校長 伊藤 孝行

明日から2月「如月」に入ります。



陽射しは春めいてきましたが、朝の冷え込みは一段と厳しくなってきました

令和7年も2番目の月、一年の中でも一番寒いといわれる2月に明日から入ります。

2月の昔からの呼び名である如月(きさらぎ)の由来は、2月はまだまだ寒さが厳しい時期のため、衣をさらに重ね着するという意味から「衣更着(きさらぎ)」になったという説が有力です。

2月はこの他にも「雪消月(ゆきげつき)」や「梅見月(うめみづき)」とも呼ばれ、春を待ちわびる昔の人の想いが伝わるようなものもあります。

2025年の節分は2月2日(日)です。



節分というと2月3日と思いがちですが、今年の節分は2月2日(日)になっています。

節分の日付は立春の前日と定められており、立春の日付は暦の関係で毎年少しずつずれるため、節分の日付も変動するのです。

2024年の2月は閏年(うるうどし)のため、1日多い29日までありました。その関係で、今年例年より1日早い2月2日(日)なのです。

節分のイベントを計画されているご家庭もあるかと思いますが、お間違いのないように！

節分のイベントといえば「豆まき」です。

立春の前の日の「節分」は季節の変わり目です。

昔の人は季節の変わり目には「邪気(鬼)」が生まれ災いが起こると信じられていました。

そのため「邪気(鬼)」を追い払うための儀式として「豆まき」を行っていました。



なぜ豆をまくのかというと、豆・穀物には生命力と魔除けの呪力が備わっているとされていたこともあり、「魔目(豆・まめ)」を鬼の目にぶつけることで鬼を滅し邪気(鬼)を払い無病息災を願うとされてきました。魔(ま)を滅(めつ)する「魔滅・まめ」から豆になったとされています。

また、玄関には鬼が嫌う臭いの「柊鰯」を飾り、鬼を近寄らせないようにもします。

「鬼」がいないと豆まきはできません。

子どもたちに人気のあるアニメ「鬼滅の刃」の中でも、鬼は人間の心の中の様々な「悪」から生まれたものだと言われています。



人間の様々な「悪」から生まれた鬼の色にはそれぞれに意味があります。

- 赤鬼は「貪欲、欲望や渴望」
- 青鬼は「悪意や憎しみ、怒り」
- 黄鬼は「後悔や執着、わがままな心」
- 黒鬼は「疑いや欺き、愚痴」
- 緑鬼は「怠惰(なまけ)や過食、不健康」

人間のもつ様々な「悪い部分」を5色の鬼として表しているように思います。

皆さんが心の中から追い出したいのは何色の鬼でしょうか？私は「緑鬼」でしょうか。

交通死亡事故多発注意報が発令されました。

令和7年1月22日から27日までの6日間で福島県内では4件の交通死亡事故が発生しました。

今回は、信号機のある交差点で信号が青でも、信号無視の車もいるので、左右の安全確認を十分に行ってから横断することを子どもたちに徹底させたいと思います。